

# 高知県森林総合センター 情報交流館ネットワークだより

第49号 2011. 6.10

**通常総会開催、新役員決定**

**今後の情報交流館の指針**

**発行：情報交流館ネットワーク**

〒782-0078 高知県香美市土佐山田町大平80

**高知県森林総合センター 情報交流館**

TEL:0887-52-0087 FAX:0887-52-0097

<http://www5.ocn.ne.jp/~kouryuu/>

**メール:kouryukan@able.ocn.ne.jp**

新年度 5 月 1 日より新代表に鈴木朝夫(すずきともお)氏に決定。山崎眞幹前代表お疲れさまでした。また、5 月 28 日、通常総会が開かれ新役員が決まりました。

■■■■■■■■ 皆で、盛り上げましょう、上げましょう（ご挨拶） ■■■■■■

情報交流館ネットワーク代表 鈴木朝夫

火中の栗を拾うような形で情報交流館ネットワークの代表を引き受けた。1999 年(平成 11 年)の発足当時には、情報交流館ネットワークには登録した加盟 団体が 50 近くもあり、交流館は単なる箱物ではないぞと活気に満ちていた。小さな「森の音楽会」もそのような活動の一つであった。当時の活発な雰囲気を感じて頂くために、「森の音楽会事始め」と題した拙文を「情報交流館ネットワークだより」(No.14、11(2002))から抜粋 する。

「コミュニティー・センターの小さなホールでの、個人の家のダイニングルームでの、ミニコンサートを探しては聴きに行きました。アメリカに一年 間滞在した 1974 年から 1975 年に掛けてのことです。演奏者の息遣いが聞こえるほどに近くで、音楽を聴くのは初めてでした。ハプシコードを間近で見たり、触ったりしたのはこのようなときでした。」

「高知にもありました。香北町の物部川のほとり、おしゃれなログハウスの喫茶店があります。その樫尾さんご夫妻から『今度、フルーツの小さなサイタルをここでやります。』とお誘いを受けました。」「土佐山田町の奥、由緒ある旧家を利用した料理屋があります。ここは、一晩に一組の客しか受けず、年末には一年分の予約が入ってしまうほどの評判です。」「お料理を戴きながらの小さな音楽会が年に 1 回ここで開かれ、4~5 年も続いて居ることを知りました。この地区の横山正彦さんを中心に進めて居られると聞きました。」

「高知工科大学は林業試験場を移転させて、建設したという経緯があります。物部川の右岸、工科大の対岸に、様々な機能を統合した高知県森林総合センターがやっと出来上がりました。この中に『森の情報交流館』があります。県民に森と木の文化を知って貰うための施設です。ある時、上のような関連ある方々の集まりで、この空間を利用して音楽会を開こうと盛り上がりました。子供が居ても良い、騒いでも良い、気楽な音楽会にしようと、まとまりました。クラシックだけではなく、時には、ジャズも、フォークソングも、そして、野外に出て草笛やオカリナを聴くことも考えようと決まりました。音楽の合間に森と緑に関連ある話を聞きます。」「今までの話題は、きのこの話、森の動物、炭の不思議、里山の話、土佐派の家などです。」

「森の情報交流館のイベントコーナーのパソコン投影スクリーンの直ぐ上に、『森の音楽会』と記した緑色の看板がいつも掛かっています。1999 年 9 月に行った第 2 回の時のままです。今後も続けて行こうとの証とお考え下さい。

あれから 10 年、どの団体にも高齢化の波が押し寄せ、意識のマンネリ化や組織の硬直化が進んでいる。県との関係においても情報交流館の運営方針・形態も変化し、今では指定管理制度に基づく経営に変わっている。一方で、情報交流館ネットワークの構成団体は減少傾向にあり、加盟団体 25 になっている。数の減少だけではなく、その活動も低迷して居る。指定管理を受けるための汲々とした対応になりがちであり、それをこなして仕事が終わったと思いがちである。理想の弾力性・柔軟性からはかけ離れている。

情報交流館をバーチャル空間にも拡大し、メーリング・リストで多くの人と広く連携を取り、自然な形での新陳代謝が進む仕組みを構築したい。予算がなくても活動できるぞとの意識と工夫を励まして行きたい。皆さんの漲る熱気で 10 年前の活力を取り戻したい。美味しい様々な味の焼き栗を楽しもう。ご意見を鈴木朝夫<[s-tomoo@diary.ocn.ne.jp](mailto:s-tomoo@diary.ocn.ne.jp)>まで。

平成 23 年 5 月 28 日午前 10 時より通常総会が開催され、鈴木代表が冒頭で大勢の人に来てもらえる交流館に、またパソコン通信を使つての森・山・里・海に関する情報発信、意見交換の場にしたいとの挨拶がありました。総会では情報交流館ネットワークが高知県から指定管理を受けている、情報交流館、月見山こどもの森の平成 22 年度の事業報告、平成 23 年度の事業計画を審議し、採択されました。

## 新役員の名簿

役 職	氏 名	運営委員役職	担 当
代表	鈴木朝夫	運営委員会会長	総括
副代表	川本清二	運営委員	環境教育指導者養成
副代表	根木勢介	運営委員（幹事）	運営・情報発信
委員	浜氏 拓	運営委員	経理・事務・文書
委員	安丸清司	運営委員	経理・事務・文書
委員	松岡武志	運営委員	環境教育指導者養成
委員	岡本忠雄	運営委員	ネットワーク支援・連携・利用促進
委員	嶋村博右	運営委員	ネットワーク支援・連携・利用促進
委員	島崎俊弘	運営委員	子ども達の環境教育
委員	奴田原藻子	運営委員	子ども達の環境教育
監事	浜田吉成		
監事	山田利幸		

(注) 運営委員会

会則第 30 条： 本会は事業の円滑な遂行を図るため、運営委員会を設置することができる。運営委員会の設置、その他必要な事項は委員会の議決を経て、代表が別に定める。

## 今年度の新しい情報交流館の利用促進の行動

パソコンを使つての森の情報発信、意見交換の場にする

**7月より**：毎週日曜日 10時～15時木工工作体験できます。

**9月中頃**：木工クラフトコンテストの展示を行います。

(7月、8月は募集期間、一般、ジュニアの部・・・優秀作品には、盾、賞状、記念品贈呈)

**新年度となって、各種行事が交流館を中心に始まっています。**

### 知恵袋の会・・・里山自然体験

4月24日(日) 第1回 タケノコ掘り、山菜採り、炭焼き体験、草笛教室、オリエンテーリング

5月22日(日) 第2回 田植え、イモの苗植え、野菜の種まき、七輪火おこし、バーベキュー



### 森林ボランティア養成講座

4月24日(日) 第1回講座 ( 自然体験、木工クラフト合同講座)

開講式、特別講演「まず、森に入ってみよう」ふぁーまー土居氏  
午後香美市消防本部による「救急法」実習

5月15日(日) 自然体験コース第2回講座 高知城の樹木を知ろう

講師：樹木医 前田繁次氏

5月22日(日) 木工クラフトコース第2回講座 手工具による工作(一枚の杉板で箱を作る)

講師：齊藤数三氏による



木工クラフトコース（箱作り）



自然体験コース（高知城樹木観察）

## 情報交流館自主開催行事

4月3日（日）草笛教室



草笛教室（ハランの葉のラップ）

6月5日（日）親子でピザづくり教室



家族でおいしいピザを食べました

## 講師派遣行事

6月5日（日）野市小学校エコ祭り

自然の木の枝で「世界で一匹しかない虫」造り



\*各種行事につきましては、公益法人高知県森と緑の会へ

「こうち山の日イベント」「山の一日先生派遣事業」等の補助金の申請を出しております。皆様のご協力をお願いいたします。